

師走に入りました。学期末の学習のまとめや活動の振り返りなど、忙しい毎日と思います。

ESDでは、「新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動」を大切にします。2学期の活動を振り返り、活動の課題や成果を明確にし、次への充実した活動へと目指していきましょう。

「ユネスコスクール子どもサミット」のお知らせ

本年度、本市のESDの発信の場として「ユネスコスクール子どもサミット」が開催されます。この「ユネスコスクール子どもサミット」は、各学校の発表を通して学校間の交流を深めていくとともに、次年度に向けてのESDのさらなる充実を目指す機会でもあります。多くの先生方の参加をお願いいたします。

日時 平成26年1月11日(土) 10:00~12:00

場所 大牟田市文化会館(小ホール)

<本年度の発表校>

みなと小学校、駿馬南小学校、上内小学校、白川小学校、三池小学校、平原小学校、歴木中学校、松原中学校、有明次世代科学クラブ(高専)以上各学校からの発表があります。

発表校以外の小中学校の学校は、ESDの取り組みをスライドショーで紹介いたします。発表校以外の学校でまだスライドショーを提出されていない学校は、早めの提出をお願いいたします。

提出日締め切り 平成25年12月13日(金)まで

大牟田市立田隈中学校の實踐

福祉体験を通して

1年生の総合的な学習の時間では、1学期は、福祉体験学習の取り組みとして、手話、アイマスク、看護等の体験学習を行いました。ゲストティーチャーとして、大牟田手話の会や誠修高校と杉森高校の先生、生徒さんに来ていただきました。この体験学習では、地域の事業所、高校等の協力を得ながら、耳が不自由な方々と手話で会話をするなどの貴重な体験することができました。

2学期は、差別や偏見のない社会について考えるために、ハンセン病について学習しました。菊池恵楓園に行き、入所者自治会の皆様の協力を得て、ボランティアガイドの方々から、施設を案内していただき、ハンセン病について詳しく学ぶことができました。



大牟田市立羽山台小学校の實踐

老人保健施設「さんぼ」との交流を通して

6年生は、総合的な学習の時間に地域の老人保健施設との交流を毎年行っています。今年は、まず施設の方を講師として学校に招き、施設の説明や認知症の方との接し方や関わり方を学習しました。

その後、実際に2回施設を訪問し、お年寄りの方々との交流を行いました。グループ毎に歌・紙芝居・手品などを披露したり、お年寄りの方々といっしょに簡単なゲーム・お手玉やあやとり等をしたりしました。子供たちは、福祉の在り方や共生の大切さについて学ぶとともに、施設で働く介護士や臨床心理士などの仕事にも興味・関心を持つことができました。



第5回 私のまちのたからものスライドショーコンテスト

主催 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
作品テーマ 「世界の人に伝えたい、私たちのたからもの」
締め切り 平成26年(2014)1月14日(火)必着
*各学校から日本ユネスコ協会連盟へ提出

応募方法 ①1作品につき応募用紙1枚
②作品を収録したCD-RまたはDVD-R
③児童・生徒による絵コンテを1作品につき1枚

応募作品の条件(一部) ホームページの応募要項を必ず読んでください。

①使用する写真は、必ず被写体の肖像権及び著作権について許可を得たもの
②使用する音楽は、必ず著作権フリーの音楽を使用してください。

◎ 大牟田子どもサミットで提出されたスライドショーも条件を満たしていれば提出できます。ユネスコスクールとして積極的な応募をお願いします。

